

Functional Status Score for the Intensive Care Unit (FSS-ICU)

日本語版

採点のための総合的指針：

- ・ FSS-ICU の得点は患者の身体能力の評価に限って用いられます。評価者は医療機器及び装置の操作、並びに患者モニターの監視を補助しても構いません。これらの補助は、身体能力の評価には含みません。

- ・ FSS-ICU の採点は、特に断りがない限り、定められた各課題で身体的介助や見守りを担当する1名の評価者で行ってください（たとえば、歩行や車いす駆動では2名の評価者で介助できますが採点するのは1名だけです）。FSS-ICU の採点は介助リフトを使わずに行う必要があります。

- ・ 採点は、評価中に患者が実際に行なった内容に基づくべきであり、患者が過去に出来ていたことや、出来るであろうという予測に基づいてはいけません。

採点のための具体的手順：

次ページ以降の各課題における得点を、下記の表へ記入します。各課題の最低点と最高点はそれぞれ0点と7点です。

総得点は課題1から課題5までの合計であり、最低点、最高点はそれぞれ0点と35点です。

筋力低下以外の理由で課題を行えなかった場合（たとえば、患者が同意しない場合や患者の医療機器が妨げとなり課題を行えない場合）には、次の方法で採点します。

1) 行えなかった課題が2つ以下の場合は、最後まで行えた課題の平均得点を、行えなかった課題の得点にそれぞれ使用します。

2) 行えなかった課題が3つ以上の場合は、最後まで行えた課題のみ採点できますが、FSS-ICUの総得点は計算できません。

課題	得点
1. 寝返り動作	
2. 仰臥位から座位への動作	
3. 座位からの立位への動作	
4. ベッドでの端坐位	
5. 歩行	
総得点（得点の合計）	

課題

1. 寝返り動作：

ベッドでの寝返りに介助が必要ですか？

[テスト注：患者にとって安全な範囲でベッドを出来る限り平らにしてください。]

いいえ、介助は必要ありません：

>ベッド柵などを掴まずに、自力で寝返りが出来ますか？ はいの場合は7点。

>ベッドで寝返りをするには、ベッド柵などが必要ですか？ はいの場合は6点。

はい、介助が必要です：

>寝返りには、身体的介助は不要ですが、指示や促しが必要ですか？（必要であれば、ベッド柵などを使用しても構いません） はいの場合は5点。

>寝返りには、最小介助（患者は動作の75%以上を行うと定義）が必要ですか？ はいの場合は4点。

>寝返りには、中等度介助（患者は動作の26～74%を行うと定義）が必要ですか？ はいの場合は3点。

>寝返りには、最大介助（患者が動作の25%以下を行うと定義）が必要ですか？ はいの場合は2点。

>全介助であれば寝返りを行うことが出来ますか？（寝返りをした時に、患者は全く力を貸せないと定義） はいの場合は1点。

>筋力低下のため、寝返りの課題に取り組めないか、成し遂げることが出来ませんか？ はいの場合は0点

>筋力低下以外の理由で課題を行えなかった場合（たとえば、患者が同意しない場合や患者の医療機器が妨げとなり課題を行えない場合）は、採点しません。

2. 仰臥位から座位への動作：

仰臥位から座位になるには介助が必要ですか？

[テスト注：患者にとって安全な範囲でベッドを出来る限り平らにしてください。]

いいえ、介助は必要ありません：

>ベッド柵などを掴まずに自力で仰臥位から座位になれますか？ はいの場合は7点。

>仰臥位から座位に自力でなれますが、ベッド柵などが必要ですか？ はいの場合は6点。

はい、介助が必要です：

>仰臥位から座位になるには、身体的介助は不要ですが、指示や促しが必要ですか？（必要であれば、ベッド柵などを使用して構いません） はいの場合は5点。

>仰臥位から座位になるには、最小介助（患者は動作の75%以上を行うと定義）が必要ですか？ はいの場合は4点。

>仰臥位から座位になるには、中等度介助（患者は動作の26～74%を行うと定義）が必要ですか？ はいの場合は3点。

>仰臥位から座位になるには、最大介助（患者は動作の25%以下を行うと定義）が必要ですか？ はいの場合は2点。

>全介助であれば仰臥位から座位になれますか？（仰臥位から座位になった時に、患者は全く力を貸せないと定義） はいの場合は1点。

>筋力低下のため、仰臥位から座位への動作の課題に取り組めないか、成し遂げることが出来ませんか？ はいの場合は0点

>筋力低下以外の理由で課題を行えなかった場合（たとえば、患者が同意しない場合や患者の医療機器が妨げとなり課題を行えない場合）は、採点しません。

3. 座位から立位への動作：

座位から立位になるには介助が必要ですか？

[テスト注：通常の高さのベッドやイスなどから立ち上がって構いません。]

いいえ、介助は必要ありません：

>ベッド柵、肘掛けなどを使わず、自力で座位から立位になれますか？ はいの場合は7点。

>座位から立位になるには、ベッド柵、肘掛けなどが必要ですか？ はいの場合は6点。

はい、介助が必要です：

>座位から立位になるには、身体的介助は不要ですが、指示や促しが必要ですか？（必要であれば、ベッド柵、肘掛けなどを補助として使用して構いません） はいの場合は5点。

>座位から立位になるには、最小介助（患者は動作の75%以上を行うと定義）が必要ですか？ 必要なら肘掛けを使用して構いません。 はいの場合は4点。

>座位から立位になるには、中等度介助（患者は動作の26～74%を行うと定義）が必要ですか？ はいの場合は3点。

>座位から立位になるには、最大介助（患者は動作の25%以下を行うと定義）が必要ですか？ はいの場合は2点。

>全介助であれば座位から立位になれますか？（座位から立位になった時に、患者は全く力を貸せないと定義） はいの場合は1点。

>筋力低下のため、座位から立位への動作の課題に取り組めないか、成し遂げることが出来ませんか？ はいの場合は0点。

>筋力低下以外の理由で課題を行えなかった場合（たとえば、患者が同意しない場合や患者の医療機器が妨げとなり課題を行えない場合）は、採点しません。

4. ベッドでの端坐位：

ベッドでの端坐位保持に介助が必要ですか？

[テスト注：この課題には時間制限はありません。]

いいえ、介助は必要ありません：

>手は使わず、また、ベッド柵などに掴まらず、自力で端坐位をとれますか？ はいの場合は7点。

>自力で端坐位をとる時、バランスをとるために手で支えるか、あるいはベッド柵に掴まる必要がありますか？ はいの場合は6点。

はい、介助が必要です：

>端坐位には、身体的介助は不要ですが、指示や促しが必要ですか？（必要であれば、バランスをとるために手を使用して構いません） はいの場合は5点。

>端坐位には、最小介助（患者は動作の75%以上を行うと定義）が必要ですか？ はいの場合は4点。

>端坐位には、中等度介助（患者は動作の26～74%を行うと定義）が必要ですか？ はいの場合は3点。

>端坐位には、最大介助（患者は動作の25%以下を行うと定義）が必要ですか？ はいの場合は2点。

>全介助であれば端坐位を保持することが出来ますか？（端坐位になった時に、患者は全く力を貸せないと定義） はいの場合は1点

>筋力低下のため端坐位の課題に取り組めないか、成し遂げることが出来ませんか？ はいの場合は0点。

>筋力低下以外の理由で課題を行えなかった場合（たとえば、患者が同意しない場合や患者の医療機器が妨げとなり課題を行えない場合）は、採点しません。

5. 歩行：

4 5 m（1 5 0 フィート）歩くには補助が必要ですか？

[テスト注：患者が歩行中に、評価者が車いすを押してついて行くことや医療機器の取り扱いを手伝うことは、介助しているとはみなしません。]

いいえ、介助は必要ありません：

>杖、歩行器、松葉杖などの補助具、義肢や装具を使用せずに、4 5 m（1 5 0 フィート）歩けますか？ はいの場合は7点。

>杖、歩行器、松葉杖などの補助具、義肢や装具を使用すれば、4 5 m（1 5 0 フィート）歩けますか？ はいの場合は6点。

はい、介助が必要です：

>4 5 m（1 5 0 フィート）歩くために、身体的介助は不要ですが、指示や促しが必要ですか？（必要であれば、補助具を使っても構いません） はいの場合は5点。

>1名による最小介助（患者は歩行の7 5 %以上を行うと定義）で、4 5 m（1 5 0 フィート）歩けますか？ はいの場合は4点。

>1名による中等度介助（患者は歩行の5 0 ~ 7 4 %を行うと定義）で、4 5 m（1 5 0 フィート）歩けますか？ はいの場合は3点。

>1名の介助だけで、すくなくとも1 5 m（5 0 フィート）歩くことができますか？ はいの場合は2点。

>1 5 m（5 0 フィート）未満であれば1名の介助で歩けますか、または歩行距離に関わらず2名の身体的介助が必要ですか？ はいの場合は1点。

>筋力低下のため歩行の課題に取り組めないか、成し遂げることが出来ませんか？ はいの場合は0点。

>筋力低下以外の理由で課題を行えなかった場合（たとえば、患者が同意しない場合や患者の医療機器が妨げとなり課題を行えない場合）は、採点しません。

6. 車いす駆動：

平らな場所で、車いすを45m（150フィート）こぐには介助が必要ですか？

[テスト注：車いす駆動の課題の間、医療機器（たとえば点滴台、心電図モニターなど）の取り扱いを手伝うことは、課題を補助しているとはみなしません。]

いいえ、介助は必要ありません：

>見守りや身体的介助の必要なしに、車いすを45m（150フィート）安全にこげますか？
はいの場合は6点。

はい、介助が必要です：

>身体的介助は必要なく、見守りや声かけのみで、車いすを45m（150フィート）安全にこげますか？ はいの場合は5点。

>方向転換や敷居の通過時に、1人による最小介助（患者は課題の75%以上を行えると定義）で、車いすを最低45m（150フィート）安全にこげますか？ はいの場合は4点。

>1人による中等度介助（患者は課題の50～74%を行えると定義）で車いすを少なくとも45m（150フィート）安全にこげますか？ はいの場合は3点。

>1人による介助で車いすを少なくとも15m（50フィート）安全にこげますか？ はいの場合は2点。

>15m（50フィート）未満であれば1名の介助で車いすを安全にこげますか、または移動距離に関わらず2名の身体的介助が必要ですか？ はいの場合は1点。

>筋力低下のため車いす駆動の課題に取り組めないか、成し遂げることが出来ませんか？
はいの場合は0点。

>筋力低下以外の理由で課題を行えなかった場合（たとえば、患者が同意しない場合や患者の医療機器が妨げとなり課題を行えない場合）は、採点しません。